



令和8年度

岩内町立岩内第二中学校 グランドデザイン

学校の教育目標 **思いやりの心を持ち、進んで実践し、生き生きと活動する生徒**

- 高い知性・・・自ら考える生徒～自ら学び、考え、表現する生徒
- 豊かな情操・・・自ら求める生徒～思いやりを持ち、協力し合う生徒
- たくましい体・・・自ら鍛える生徒～生活習慣を見つめ、健康・体力づくりをする生徒

重点目標

岩内町の未来につなげる力の育成～義務教育学校設立の推進～

岩内中央学園開校に向けたグランドデザイン目指す子ども像につなぐ具体的な力1 2 スキルの具現化

町立学校教育目標 ◎岩内町で目指す 15歳の姿

ふるさと岩内を愛し、志高く夢の実現に向かう

これからを生き抜く子どもたちにとって、現在は予測困難な変化の激しい時代です。その中でもふるさとを愛する郷土愛を持って、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断できる力を身につけることが自己実現を果す鍵となります。二中では、教職員一丸となって、魅力ある授業づくりに努め、保護者・地域の方とともに志を高く持ち夢の実現に向かう子どもたちの育成を目指します。さらに、岩内町で目指す 15歳の姿を岩内小中学校 4校がひとつになって、みんなで力を合わせて、令和8年度の義務教育学校の設立を実現します。

教職員のチーム力

学校の果たさなければならぬ責務を全うするためには「教職員集団」のチーム力が鍵となります。ともに同じ目的を持ち「思ったら、すぐ動く」を心がけみんなで支え、励まし歩む中で笑顔と活力があふれる集団が安心で安全な学校づくりにつながります。私たちは、学校の柱である教職員のチーム力を大切に令和8年度に全力で向かいます。

魅力ある授業の力

二中では、「子どもを主語とした授業づくり」を心がけます。学校生活の中で最も多くの時間を費やしているのは「授業」です。その授業を子どもたち一人一人が学びに向かう興味関心のもと、自ら考え、表現し、深めようとする「探究的な学習へのアプローチ」を校区の小・中学校とも連携して、令和8年度に向けて充実させていきます。

保護者・地域の力

子どもたちの生活の基盤はやはり「家庭」と「地域」です。子どもたち一人ひとりが生活をともにしている「家庭」や自分のふるさと「岩内」に対して尊敬と感謝の気持ちを持つことは生きる土台となります。そのため、私たちは地域の学校として保護者・地域と情報共有、さらに連携を深め令和8年度に向けてともに歩んでいきます。

教師の
心理的安全性

学校経営の3つの柱(学校経営の基盤)
安全に働ける学校 ⇄ 生徒の安心安全

生徒の
Well-being

岩内町小・中学校 4校義務教育学校設立の推進

令和8年度義務教育学校「岩内中央学園」の設立

令和6年度 岩内町立第二中学校学校経営方針

校長 庄司 真人

ワクワク・ドキドキが止まらない！

思ったら、すぐ動く！！

義務教育学校「岩内中央学園」の設立が2年後に迫ってきました。

昨年度にグランドデザインが示され、令和8年度設立に向けてのロードマップも示されました。

そして、今年度、教育課程や生徒指導など詳細な部分を明らかにしていきます。見えない道を切り開くドキドキ感と一から学校を創り上げるワクワク感でいっぱいです。

さあ、思い切って、まずはやってみましょう！

「思ったら、すぐ動く！！」ことで以下の3つが見えてきます。

【できない理由を探す暇がない】

「思ったらすぐ動く！！」とできない理由を探す暇がありません。人は、何かをやろうとした時に頭で考えると、無意識のうちにできない理由を探すようになります。そして、できない理由は時間が経つにつれてドンドン増えていきます。「思ったらすぐ動く！！」人は、「やりたい→やる」ですが、そうでない人は、「やりたい→完璧を求めるあまり問題点を探す→問題点が怖くなる」という回路になります。「思ったら、すぐ動く！！」は、行動を阻害する要素が自分を邪魔する前に突破することができるのです。

【時間の有効活用ができる】

考えることで得られる経験値を1とするなら、行動して得られる経験値は100以上です。

「思ったら、すぐ動く！！」人は、「まず考える」人の100倍以上の経験をし、100倍以上のスピードで成長します。向上心をもって行動すれば、必ず問題にぶち当たります。必ずです。そうやって自分にとっての具体的な問題点を出すことで、具体的な対策が取れるのです。行動せずに知識を吸収しているだけでは、知識の使い方がわからないのです。知識を得てから行動するより、行動してから知識を付けた方が、時間は短時間で済むのです。

【最短で結果がでる】

「思ったら、すぐ動く！！」ことで最短で結果が出ます。結果というのは、よい結果も悪い結果も、ひっくり返る結果です。「思ったら、すぐ動く！！」ことで悪い結果が出たとしても、改善に向けた具体的な準備をして、次は今日より成長した自分になる。行動せずにいたら、いつまで経ってもよい結果は得られません。「思ったら、すぐ動く！！」ことで具体的な結果を出て、具体的に改善する、これを積み重ね続けることで、確実に目的に近づくのです。よくもわるくも結果が出るということは、失敗しないことより万倍重要なことです。最初からうまくいくことなく、人生においてなかなかありません。だから、「思ったら、すぐ動く！！」なのです。

「思ったら、すぐ動く！！」と人生が変わります。行動的になることで、子どもたちや保護者、地域の方々の先生方を見る目が変わるでしょう。他人にどう思われようがどうでもいい！と思うかもしれませんが、他人だけでなく、自分自身が自分を見る目が変わります。「思ったら、すぐ動く！！」ことで自分に自信が持てるようになります。具体的な苦労話、成功談は、その人の人生に深みをもたらします。口先だけの想像の話は、どこか薄っぺらく感じませんか？自らが体験した話は、それだけで人に影響を与え、生きた証になり、人生の資産になります。「思ったら、すぐ動く！！」ことで、人生の充実度が万倍にアップするのです。「思ったら、すぐ動く！！」は、人生を変えます。そして、「思ったら、すぐ動く！！」は、誰でもできるのです。さあ、「思ったら、すぐ動く！！」やってみましょう。

1. 町立学校教育目標（岩内町で目指す 15 歳の姿）

ふるさと岩内を愛し、志高く夢の実現に向かう

本校に集うすべての生徒一人ひとりが学校・保護者・地域など多くの人から認められることは人間の成長にとって不可欠です。その上で、自分という存在を受け入れ自らの成長を受け止められること目指します。そんな学校、地域でありたいと考えます。

私たち教職員は、その児童生徒の成長を育むために、一人ひとりの生徒に寄り添い、励まし、支えともに歩み、ともに悩み、ともに喜びを共有することで実現させたいと考えます。

そのことから本校を含め岩内町の学校における主体は子どもです。そのため、「9年間の義務教育でこんな子どもに育てる」という強い思いを示す必要があることに加え、町民の誰もが理解し、共感できることが重要と考え「めざす学校像」を設定します。

2. 学校教育目標

【思いやりの心を持ち、進んで実践し、生き生きと活動する生徒】

「高い知性・・・自ら考える生徒」

「豊かな情操・・・自ら求める生徒」

「たくましい体・・・自ら鍛える生徒」

学校教育の大きな目標は、社会にとってより有為な人材を育てることにあります。岩内第二中学校はふるさと岩内町の「まちづくり」の担い手として、その基礎・基本となる力を育むために3つの目標を掲げています。

これからの学習では、自分からすすんで学んだことを活用できる力（探究的な学習）が求められます。そのためには、その事象を「なぜだろう」と主体的に考え、表現できるスキルを身につけなければなりません。その学びには、物事の本質を探ってみ極めようとする一連の知的営みであり、他者との豊かなつながりの中で、議論された質の高い答えを導き出すことが必要となります。さらに、仲間とよりよくつながるためには、自分自身をしっかりとコントロールできる心身のたくましさも不可欠となります。そのため、今、求められている力を育て、教科等を超えた横断的、総合的な学習をよりよく実施していきます。

本校では令和8年度義務教育学校「岩内中央学園」設立に向けて、岩内町小中学校（岩内第一中学校・岩内東小学校・岩内西小学校）と目指す子ども像を共有し、9年間の一貫した教育の在り方について研究を積み重ね、その実現に向けた取組をしてきました。今年度は、令和8年度に備えて、この3つの力をすべての教育活動の中で、より一層高めていきたいと考えます。

3. 令和6年度学校経営の重点

岩内町の未来につなげる力の育成 ～義務教育学校設立の推進～

本校が抱える課題は「学力の向上」と「生徒指導（問題行動・中一ギャップ）」です。この課題の解決の糸口は、令和8年度開設予定の義務教育学校「岩内中央学園」の設立にあります。ですから、町内4校で義務教育学校設立に向けてより一層連携を深め推進していくことが不可欠です。その上で、中学校卒業の段階の「15の春」において身に着けるべきスキルを明確にし、変化の激しい時代を生き抜くことのできる「岩内町の未来につなげる力の育成」が何よりも大切な学校経営の重点となります。

今年度から、目指す生徒像の実現に向けた「生徒の12視点」を定めました。岩内第二中学校のあらゆる教育活動における実践を目指していきます。

(1) 目指す生徒像につなぐ「生徒の12視点」と

学習指導要領「育成を目指す資質・能力の3つの柱」との関連

目指す子ども像		
【町立学校教育目標】ふるさと岩内を愛し、志高く夢の実現に向かう		
【学校の教育目標】思いやりの心を持ち、進んで実践し、生き生きと活動する生徒		
＜高い知性＞ 自らを考える	＜豊かな情操＞ 自ら求める生徒	＜たくましい体＞ 自ら鍛える生徒
中学校1年生の重点		
①自分の課題を知り、計画的に学ぶことができる（知識・技能） ②自分の将来に向けた目標に向かって努力することができる（学びに向かう力・人間性等）	⑤気持ちのよいあいさつをしたり態度を取ったりすることができる（知識・技能） ⑥すすんで誰とでも話し合うことができる（思考力・判断力・表現力等）	⑨様々な体験から、運動の楽しさを実感し、すすんで取り組むことができる（学びに向かう力、人間性等） ⑩失敗を恐れず、勇気を持って挑戦することができる（知識・技能）
中学校2年生の重点		
③自分の必要な学びを理解し、深めていくことができる（思考力・判断力・表現力等）	⑦時と場合に合わせて言葉を選んだあいさつや対応をすることができる（思考力・判断力・表現力等）	⑪心身の健康に向けて運動に取り組むことができる（思考力・判断力・表現力等）
中学校3年生の重点		
④自分の将来に見通しをもち、実現のため試行錯誤することができる（知識・技能等）	⑧他者の意見を受け入れ、よりよい考えを求めることができる（学びに向かう力、人間性等）	⑫困難や失敗を乗り越えながら、物事を着実にやり遂げることができる（学びに向かう力、人間性等）

(2) 目指す生徒像につなぐ「教職員の3つの活動」

目指す生徒像の実現に向けた教職員の3つの活動
<p>考える～「何を、どのように学び、何ができるようになるのか」…知識及び技能</p> <p>① 生徒が教師の意図通りの力を付けることができるような工夫を仕かける</p> <p>伝える～「伝える相手や状況に応じた表現ができるか」…思考力・判断力・表現力等</p> <p>② 生徒のよさを見つけ褒め、生徒に寄り添う聴き方・温かい話し方で伝える</p> <p>動く～「どのように人と関わり、よりよい生活を送るか」…学びに向かう力、人間性等</p> <p>③ 生徒が今をとらえ、どのような関わりがふさわしいかを考えて積極的に動く</p>